

1. 授業の実際 授業校 千葉市立稲浜中学校 指導者 相内 優希

(1) 単元名 バレーボール

- (2) 本時の目標
- ・仲間と声をかけ合い、連携した動きやラリーを続けようとしている。
 - ・低い姿勢でボールの落下点へ移動し、仲間にパスをつなぐことができる。

(3) 本時の展開 (7/12)

過程	学 習 活 動 と 展 開	教 師 の 支 援
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動、補強運動を行う。 ・グループでウォーミングアップを行う。 (キャッチボール、直上パス、スキルアップドリル) 1. 集合、挨拶、出欠確認 2. 本時のねらいと評価項目の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動がきちんとできているか観察する。声が出ていないなどがあれば、声かけをする。 ・本時のねらいを理解させる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ねらい：仲間と声を出し合いながら、パスをつなげよう！ </div>	
展 開	<ul style="list-style-type: none"> 3. 円陣パス パスする相手の名前を呼んで、パスをつなぐ ①中心に生徒を置いて(6回) ②円陣(6回) ノルマを達成したら、目標回数をグループで設定し、 時間内でどんどん回数が増えるように挑戦していく。 4. ラリー競争ゲーム ・バドミントンコート、時間制、下手投げサーブ(投 げる相手の名前を呼ぶこと)、一人1回、ローテーシ ョンする。 ・相手コートにつながったラリーの数を他チームと競 う。次のゲームに移る際は、チーム内でメンバーを 変える。 5. 整理運動、片付け 6. 学習のまとめ 学習カードに評価、反省、感想を記入する。 7. 整列、挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・声をかけ合ってボールをつなぐことを意識するよう取り組ませる。 ・円陣パスがスムーズに行えているチームには、攻撃につながる返球をするなど、少しレベルを上げた円陣を行うよう促す。 ・リーダーを中心にゲームの目標や作戦を考えさせる。 ・互いに声を声かけやアドバイスをしながらプレイするよう、巡視しながら声をかける。 ・パスが上手くつながらないときは、チームで解決策など話し合うよう促す。 ・チームごとに協力して取り組むよう促す。 ・評価、反省、感想がしっかり記入されているか確認する。

2. 成果と課題

チームでのかけ声を決めたり、意図的に声を出す機会を設定したりしたことで、声を出して動くことや互いに励まし合うことなどが増え、パスが失敗しても雰囲気良く行えるものとなった。また、ウォーミングアップから授業の終わりまでグループで活動させることでチームの団結が深まり、一人一人のパスをつなげる意識が強くなった。今回の授業では、すべての練習において正規のボールを使用した。ラリーが続かないこともあったので、1年生の段階では、状況に応じてレクリエーションボールを選択させる場面も必要であったと感じる。今回の反省を活かして、生徒たちがより意欲的に活動できるよう、これからの授業づくりに努めていきたい。